

韓国青少年訪日団第3,4団(招へいプログラム)の記録 (対象国:韓国,テーマ:日本の地方の魅力を探る)

1. プログラム概要

韓国全土から選抜された高校生等が、11月9日から15日までの6泊7日の日程で来日し、テーマ「日本の地方の魅力を探る」のもと、対日理解を深めました。

一行は東京都で岐阜県の魅力と観光に関する講義を受けた後, 岐阜県へ移動し, ホームステイや学校訪問, 文化体験等を行い, 関係者との意見交換・交流等を実施しました。プログラム中, 日本の先端技術, 訪問地域の地域活性化の取組み, 特産物や伝統文化等に強い関心を示し, 各々の関心事項や体験について SNS を通じて対外発信を行いました。

また、帰国前の成果報告の場では、訪日経験を活かした帰国後のアクション・プラン (活動計画)について各人が発表しました。

【訪問地】

東京都. 石川県. 岐阜県. 滋賀県. 京都府. 大阪府

2. 日程

11月9日(木)成田国際空港から入国 【視察】日本科学未来館

11月10日(金)

【講義】岐阜県の魅力と観光に関する講義

【視察】(3団)東京タワー

11月11日(土)

【視察】兼六園,白川郷

【交流】(3団)ホームステイ対面式

11月12日(日)

【産業視察・体験】食品サンプル作り

【文化体験】郡上踊り

【視察】(4団) 飛騨民俗村, さるぼぼ作り

11月13日(月)

【交流】岐阜県池田町内学校訪問(学校紹介、授業体験、交流会他)

11月14日(火)

【文化体験】着物着付け体験、宇治市内視察 【視察】(3団) 彦根城, (4団) 大阪城

成果報告会

11月15日(水)

関西国際空港から帰国

3. プログラム記録写真



11月9日【視察】日本科学未来館(東京都江 東区)



11月10日【講義】岐阜県の魅力と観光に 関する講義(東京都港区)



11月11日【視察】兼六園(石川県金沢市)



11月11日【視察】白川郷(岐阜県白川村)



11月12日【交流】(3団)ホームステイ(岐 阜県郡上市)



11月12日【文化体験】(3団)食品サンプル作り(岐阜県郡上市)



11月12日【文化体験】(4団)さるぼぼ作り (岐阜県高山市)



11月12日【文化体験】(3団)郡上踊り (岐阜県郡上市)



11月12日【文化体験】(4団)郡上踊り (岐阜県郡上市)



11月13日【学校交流】(3団)岐阜県池田高等学校(岐阜県池田町)



11月14日【文化体験】着物着付け(京都府 宇治市)



11月14日【視察】(4団)大阪城(大阪府大阪市)

4. 参加者の感想(抜粋)

◆ 韓国 高校生

- ・東京や京都、沖縄などの有名な観光地だけでなく、田舎の村の魅力も韓国の多くの人に知ってもらいたい。
- ・周りの人に「日本」という国は「悪い国」ではないと伝えたい。日本に対して悪い印象を抱く前に、まず「日本」という国を訪れ、日本人に会ってみてほしい。
- ・ホームステイで感じた愛, 道行く人たちの温かい笑顔を決して忘れないだろう。また, 訪問校の生徒たちが私たちに配慮して, 簡単な言葉やジェスチャーを使ってくれたことが印象的だった。
- ・過去の歴史により、日本に否定的な認識を持ち、日本を嫌悪する人もいるだろうが、これからは互いに現状を理解することで、両国が積極的なパートナー関係になってほしい。
- ・互いを偏った視点で見るのではなく、未来のために理解しようとする態度が大切であると感じた。

5. 受入れ側の感想

◆ 訪問校関係者

・初めて韓国の高校生の皆さんと交流しましたが、本校生徒は、韓国高校生との交流ができたことに非常に喜んでおり、大きな成果だったと思います。

◆ ホームステイ受入担当者

・初めての海外の高校生を受入れるということで、不安を抱えたまま当日を迎えましたが、入村式で、生徒の皆さんに初めてお会いし、流暢な日本語と日本の文化・暮らしを体験しようという思いがすぐに伝わり、抱えた不安も一気に消え、普段通り楽しくお迎

えすることができました。翌日の退村式では、別れを惜しんで涙ぐむ光景もあり、アドレスを交換し、この出会いを大切にしている家庭もあるようです。

・私たちが今できる最大限の交流により、遠くに感じていたお隣の国が、より近くに感じられるようになりました。今後とも、韓国の学生さんを受け入れるチャンスがあれば、 積極的に受入れたいと思います。そして、こういった市民レベルの交流が国際関係に貢献できると確信いたしました。

◆ ホームステイ受入家庭

- ・我が家にホームステイした学生が、入村式の際に、「言語能力を高め、日本を理解しようと思います」と学生代表挨拶をしたのですが、退村式では「言葉が通じなくても、 心は通じ合うことが出来る」と挨拶していたことに、本当に感動しました。
- ・韓国青少年交流事業に参加することができ、本当に光栄です。大変印象深い、大切な思い出になりました。3 人とは Facebook でもつながりました。これからの彼女たちの成長が楽しみです。彼女たちならきっと、日本と韓国の素晴らしい未来を創る架け橋になってくれるだろうと思います。

6. 参加者の対外発信

4일차 점심식사 - 구죠시 특산품 오쿠미노카레

식사를 시작하기 전 셰프님이 직접나와 설명해주셨다.

<오쿠미노 카레>는 구죠시의 관광을 활성화 하기 위해 식당을 운영하는 가게 주인끼리 모여서 개발하게 된 카레로, 구죠시에서 직접 키운 채소와 구죠시의 콩으로 만든 미소 된장을 넣는 것을 원칙으로 한다고 한다.

한국도 지역마다 장 맛이 다르듯이 구죠시의 된장도 다른지역보다는 단맛이 적고 짠맛이 강했으며 콩의 입자가 큰 편이었다. 지역 경제를 활성화하는 동시에 지역의 특색을 살린 메뉴를 개발하는 모습이 인상적이었고 앞으로 한국에 돌아갔을때도 생각해봐야함 적인 것 같다.

풍경도 너무 예쁘고 물흐르는 소리도 너무 좋았다. 점프샷을 찍기위해 몇번이고 친구들하고 뛰었던 것고 너무 즐거웠고 사진 찍어주시는 일본분도 재밌어 하셔서 더 열심히 뛰었다!

이번 연수를 통해 일본 지방의 매력을 알게 되어 기쁘다⁽³⁾





特産の奥美濃カレーについての発信 地域経済を活性化するとともに、地域の特 色を生かすメニューを開発する姿が印象 的で、韓国に帰国後に生かすべき点だと感 じた。



ホームステイについての発信 日本での忘れられない出会い。日本とは、 織姫と彦星のような関係になったのでは ないかと思う。とても特別で幸せな一日だ った。





文化体験についての発信

4 日目は岐阜県で郡上踊り、折り紙、食品 サンプル作り、さるぼぼ作りを体験しまし た。折り紙を上手に折れなかった時、助け てくれた方、本当にありがとうございまし た。さるぼぼは今、通学かばんにつけてい ます。楽しい文化体験でした。

大阪城についての発信

日本の城。 韓国の城とはまったく違う。 面 白い。

7. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表



3 団は、学校での活動や SNS 等を通じて、ま | 4 団も学校訪問や文化体験を通じて初め だ韓国で知られていない日本の地域の魅 力、地方活性化の活動などを積極的に知ら せていくとともに、日本人の配慮の文化等、 日本について広く周知させていきたいとい う声が多く挙がった。また、多くの学生が、 今回のプログラムを通して日本への留学を 決心したと述べていた。



て知った日本の魅力について、改めて認 識を共有するとともに、「日本の科学技術 についてまとめた資料をつくり周知す る」、「訪日についての曲をつくり発表す る」、「日本に留学する」などといったア クションプランを述べていた。